

# 共生社会(合理的配慮から考える)

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が2016年に施行されて、5年が経過しています。この法律は、障がいのある人に対して、不当な差別的取り扱いの禁止や合理的配慮の提供などを目指しています。

この中の合理的配慮ということについては、次の例を通して考えてみましょう。

背の高い高校生と、中ぐらいの小学生、低い幼稚園児の3人が、塀越しに野球の試合を観戦しようとしています。高校生はそのままで見えますが、小学生と園児は見えません。近くに同じ高さの踏み台が3つありました。そこで、3人は平等に1つずつ踏み台を分けました。小学生は見えるようになりましたが、園児はあと少しというところで見えません。そこで、高校生が自分の踏み台を園児に渡し、2つ重ねたので園児も見えるようになり、3人は仲良く野球の試合を観戦することができました。

例文中の「平等」は、踏み台の数という観点から見ると、一見平等のように見えますが、3人が観戦できるという観点からは、決して平等ではありません。3人とも見えるようにと高校生が行なった行為が、合理的配慮のイメージに近いものです。

では、次の例を考えてみましょう。

小学3年生のA君は、夏休みの宿題で、市立体育館の利用について調べました。入り口の階段脇にあるスロープについて、利用の状況を調べようと思いました。

初めに車いすに乗った人が、介助の人と一緒にスロープを上って行きました。

次に脚を少し引きずる感じのお年寄りが、階段をやめてスロープを利用しました。さらに、幼い子を連れてお母さん、荷物を台車に積んで運んでいる業者さん、大きなキャリアバッグを引いたスポーツ選手など、いろいろな人がスロープを利用していることが分かりました。

A君は「スロープはみんなのためにある」とまとめ、宿題を提出しました。

この例は、当初車いすの方のために造られたスロープが、実際には、他の多くの人々の役に立っているという例です。不便で困っている人のために改善を図っていけば、同時に、周りの人たちの役にも立つということなのです。合理的配慮にもどって考えてみれば、障がいのある人のために行われた合理的配慮が、実はすべての人に利益をもたらすということなのです。

合理的配慮を行うことが、誰かの負担になるというのであれば、結局は続かないでしょうし、別の問題を生み出す可能性もあるでしょう。障がいのある人のための配慮が、すべての人のためにもなるように考えていくことが、共生社会をめざす街づくりの1つの指針になるのではないのでしょうか。

(参考資料：徳島県教育委員会「あわ人権ハンドブック」)

## ご案内

### 「第2回人権教育学級」

【日時】9月8日(水) 午後2時

【場所】市サウンドハウスホール

【講師】マーク フェネリーさん

那賀郡木頭村専属の英語講師として、1996年に来日。

その後、四国大学や徳島大学の非常勤講師を経て、現在は四国大学文学部国際文化学科教授。専門分野は小学校英語教育で、小学校英語教育の在り方、教員養成、小中連携、指導者のニーズ調査などの研究に取り組み。日本で生活する外国人としての視点から、人権問題について貴重な見方や考え方を発信するなど、講演会等でも活躍されている。

【演題】外国人と人権

くイギリス人から見た「日本」

市人権推進課(市教育庁舎1階)

TEL 32・2122

FAX 33・3525

Mail:jinkensuisin@city.komatsushima-tokushima.jp

## 市民文芸 花みずき歌壇 (382) 松並敦子・選

ご近所の幼い兄妹傘さして桜ん坊のお礼を言いくる

田浦町 太田カツミ

身の内へ寄せては返す波がありオカリナ・ピアノの海にたゆとう

横須町 山崎 泰子

おいゆくに食事は少なめ冷蔵庫のキャベツ・レタスもくた

立江町 湯浅かや子

病弱で離れ暮しいし母が我がために跳えし椿咲くランドセル

江田町 深田 伴子

手短に片手間なんてもつたない猫と遊ぶときは全身全霊

間新田町 瀧川 益美

そら豆のちぎり頃かと確かむる莢びちちとバケツに

赤石町 田原トシ子

山盛り

コロナ禍の浜には人の姿無し砂に埋もれて錆びたパラソル

田浦町 西 教明

犬がいてカナリヤ鳴いて朝が来る金魚が泳ぐかつてのわが家

横須町 福島 夢栄

カレーは止めてと胃が訴える新じゃがも新玉ねぎも今朝はスープに

中田町 松並 敦子